

# 第4学年 体育科学習指導案

日時 10月16日(木)6校時  
学級 第4学年1組(31名)  
指導者 佐藤 光昭  
体育指導補助員 山口 拓紀

1 単元名 器械運動「跳び箱運動」

2 単元の目標

技能	・自己の能力に適した課題をもち、跳び箱運動の楽しさや喜びに触れながら技能を身に付け、基本的な支持跳び越し技（開脚跳び、台上前転）ができるようにする。
態度	・運動に進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動をしたり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができるようにする。 ・友達と協力し、学び合いながら楽しく跳び箱運動ができるようにする。
思考判断	・自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫できるようにする。 ・基本的な技の動き方や技のポイント、見合う観点を知り、友達と励まし合って活動を工夫することができるようにする。

3 運動の特性

- 技を身に付けたり、新しい課題や技に挑戦したりするときに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- 技を繰り返したり、技を組み合わせて行ったりするときなどにも楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。
- 技や動きの系統性をもった運動である。

4 研究主題との関連

(1) 体育科で目指す児童像

【心】互いの違いやよさを理解し、よりよい関わりができる子  
【体】基本の動きを理解し、意欲的に体を動かして、様々な活動に挑戦しようとする子

(2) 研究主題（児童像）に迫るための手立て

【心】よりよい関わりができるようにするために

○学び合いのできる小集団活動の工夫

「運動の得意、不得意」にとらわれず、互いの違いを理解し、児童一人一人のよさや可能性を認めることが活動を多様にしたり活気付けたりと考え、3人～4人での小集団活動を取り入れた。基本的な技の動き方や技のポイント、見合う観点をすることで知識を共有でき、意味のある関わり合いにつながると考える。単元を通し固定した小集団で学習することにより互いの伸びや課題に気付くことができるとともに、励まし合うことで「心のコミュニケーション」を図り、豊かな人間関係を築いてほしいと願っている。

【体】基本となる動きを理解し、意欲的に活動できるようにするために

○学習過程や場の工夫

器械運動は技そのものが学習課題として考えやすいため、意欲的に運動に親しむためには運動技能を高めることが大切であると考え。しかし、本単元では直接技能向上を目指すだけではなく、跳び箱運動のそれぞれの局面に関連する予備的な運動に取り組み、運動を行いやすくするために必要な運動感覚や動きを身に付けるための基礎感覚を養う時間を帯で確保した。さらに、指導する技能ポイントを最小限にし、スモールステップで学習できる場を設定することで「できる段階」を体験させていく。一人一人が自己の能力に適したためあてをもつとともに、技能を高めて伸びを実感し、運動の楽しさや喜びを体験できるようにした。

(共通課題の導入)・・・教師から技のポイントを伝え、能力差に関わらず全員で取り組む。

(個別課題の明確化)・・・児童が自己の課題に向かって主体的に取り組む時間を十分とる。

○ICT機器の活用

学習内容をわかりやすく説明したり、学習課題への興味・関心を高めたりするためにICT機器を活用して資料を提示する。また、児童が自分や友達の動きを撮影したり、模範演技を確認したりして自分自身の課題に気付くことができるようにする。小集団活動において、動画等を組み合わせながら課題やよさを伝え合うことにより、より思考や理解を深めていくことができると考えた。

○アドバイスカードの活用

児童の学習に対する意欲や学習効果をより高めるためには、わかりやすく、児童の課題にそったアドバイスが必要である。そこで、アドバイスの例を作成し活用することが有効であると考えた。

5 本時の学習（4 / 7 時間）

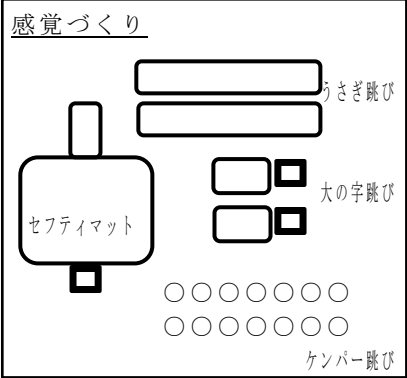
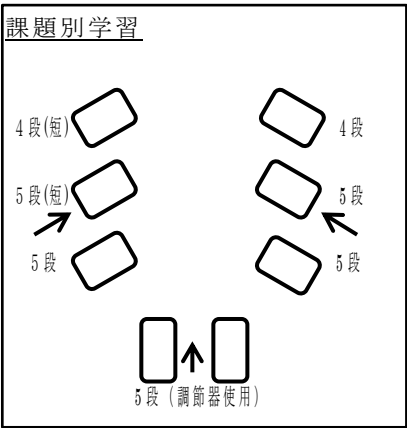
(1) ねらい

【技能】運動の楽しさや喜びに触れ、基本的な支持跳び越しができる。

【態度】運動に進んで取り組み、友達と助言し合いながら運動したり、場や器械・器具の安全に気を付けたりすることができる。

◎【思考・判断】自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫することができる。

(2) 展開

主な学習活動	○指導上の留意点・支援 ●評価	教師の動き
1 学習の進め方を知る ・本時の流れについて ・めあてについて	○前時の学習を振り返り、よい動きや学び合いを紹介し、助言の視点を示したり意欲を高めたりできるような声掛けをする。	T1 全体指導
2 準備運動をする ・グループごとに準備運動を行う。	○立位でのストレッチを中心に準備運動を行う。	T1 準備運動・グループ指導 T2 個別指導
3 感覚づくりの運動をする ・跳び箱運動につながる感覚や動きを身に付ける運動を行う。	○技に関連した易しい運動遊びを行う。 (馬跳び・カエルの足打ち・前転・うさぎ跳び・ケンパー跳び)	T1 全体指導 T2 個別指導・計時
4 場の準備をする	○安全に気を付けて準備をするように伝え、場の確認をする。	<p>感覚づくり</p> 
5 共通の課題に取り組む ・前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。	○4～5段の開脚跳びを行い、技のポイントを確認する。 ●4～5段の開脚跳びなど基本的な支持跳び越しができる。	T1 全体指導 T2 個別指導・発展技の指導 ※全体を見るために、途中で教師の位置を入れ替える。
<p>6 課題別学習をする ・小グループで見合いながら個人の課題に取り組む。</p> <p>■開脚跳びゾーン 目標：助走から両足での踏切前方に腕を伸ばした着手ひざを曲げた着地</p> <p>■発展技ゾーン ・大きな開脚跳び</p>	<p>○小グループで自分の課題を伝えてから技に取り組むことを伝える。</p> <p>○友達との課題にそった助言をしている小グループを称賛する。</p> <p>○場の選択や運動の仕方が本人の課題と合っていない場合は、他の方法を促す。</p> <p>●友達と助言し合いながら、技のポイントを意識して運動に取り組んでいる。</p> <p>●自己の能力に適した課題をもち、技ができるようにするための活動を工夫している。</p>	<p>課題別学習</p> 
7 確かめの運動を行う	○自己の課題や友達からもらった助言を意識して運動するように伝える。	T1 跳び箱の片付け T2 マットの片付け
8 場の片付けを行う	○安全に気を付けて片付けを行うように伝える。	
9 整理運動を行い、ワークシートに記入する。	○座位でのストレッチを行い、使った部位を中心にほぐす。	
10 本時を振り返り、次時の学習内容を確認する。		

学習過程

時	1	2	3	4 (本時)	5	6	7	
段階	つかむ		取り組む		つかむ		取り組む	
学習内容	基本的な切り返し系の技				基本的な回転系の技			
	<p><b>オリエンテーション</b></p> <p>○学習の仕方を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の場について知り、安全に準備をする。</li> <li>・感覚づくりの運動の仕方を知る。</li> <li>・学習資料の使い方について理解する。</li> <li>・学習する技、学び合いの仕方について知り、取り組む。</li> <li>・安全についての約束を確認する。</li> </ul>	<p><b>感覚づくりの運動に取り組む</b></p> <p>○今もっている力で跳び箱運動に必要な感覚を養い楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬跳び</li> <li>・うさぎ跳び</li> <li>・大の字跳び</li> <li>・ケンパー跳び</li> <li>・前転</li> </ul>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>感覚づくりの運動に取り組む</b></p> <p>○今もっている力で跳び箱運動に必要な感覚を養い楽しむ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・馬跳び</li> <li>・うさぎ跳び</li> <li>・大の字跳び</li> <li>・ケンパー跳び</li> <li>・ステージからの前転下り</li> </ul>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>
		<p><b>技能のポイントを知る</b></p> <p>[基本的な切り返し系の技]</p> <p>○開脚跳び</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助走 (適度な助走の距離とスピード)</li> <li>・踏切 (力強く蹴る)</li> <li>・着手 (手を後方のテープの上に着く)</li> <li>・着地 (上体を起こし、柔らかく着地する)</li> </ul>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>技能のポイントを知る</b></p> <p>[基本的な回転系の技]</p> <p>○台上前転</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・助走 (適度な助走の距離とスピード)</li> <li>・踏切 (上方に跳び、臀部を引き上げる)</li> <li>・着手 (手を前方のテープの上に着く)</li> <li>・回転 (背中を丸くして前転をする)</li> <li>・着地 (上体を起こし、柔らかく着地する)</li> </ul>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>	<p><b>共通の課題に取り組む</b></p> <p>○前時までの学習内容と技のポイントを確認しながら共通課題に取り組む。</p>
		<p><b>学習計画を立てる</b></p> <p>○ビデオを見て、学習ポイントを明らかにする。</p>	<p><b>課題別学習をする</b></p> <p>○小集団で見合いながら個人の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をはっきりさせ友達に伝えた上で、自分に合った場所で運動に取り組む。</li> </ul>	<p><b>課題別学習をする</b></p> <p>○小集団で見合いながら個人の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をはっきりさせ友達に伝えた上で、自分に合った場所で運動に取り組む。</li> </ul>	<p><b>学習計画を立てる</b></p> <p>○ビデオを見て、学習ポイントを明らかにする。</p>	<p><b>課題別学習をする</b></p> <p>○小集団で見合いながら個人の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をはっきりさせ友達に伝えた上で、自分に合った場所で運動に取り組む。</li> </ul>	<p><b>課題別学習をする</b></p> <p>○小集団で見合いながら個人の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をはっきりさせ友達に伝えた上で、自分に合った場所で運動に取り組む。</li> </ul>	<p><b>課題別学習をする</b></p> <p>○小集団で見合いながら個人の課題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・課題をはっきりさせ友達に伝えた上で、自分に合った場所で運動に取り組む。</li> </ul>

段階	つかむ	取り組む
教師の関わり方	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習ノートを活用し、活動の見通しをもつように指導する。</li> <li>・技能ポイント表の活用の仕方を明確にする。</li> <li>・課題の立て方を理解する。</li> <li>・助走の場、跳び箱、マットの置き方について場の安全を確保する大切さを指導する。</li> <li>・小集団での役割分担や学び方を確認する。</li> <li>・教え合ったりお互いのよさを認め合ったりして運動するように助言する。</li> <li>・児童のめあてを明確にし、自分に合っためあてを立てられるように指導する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達のよさを見付けたり、励まし合ったりしている児童を賞賛する。</li> <li>・安全について意識しているか観察し、必要に応じて指導する。</li> <li>・よさを発揮している児童を認め、賞賛する。</li> <li>・小集団での学び合いができていないか観察し、助言する。</li> <li>・めあてに合った練習方法を選択しているか、学習カードなどで確認する。</li> <li>・めあてや練習の方法に修正が必要な児童について助言する。</li> <li>・学習カードを使って、めあての達成や記録の伸びを振り返るよう助言する。</li> <li>・めあてを達成した児童や学び合いの高まった小集団を紹介し、互いに認め合うようにする。</li> </ul>

評価計画

時		1	2	3	4 (本時)	5	6	7
段階		つかむ		取り組む		つかむ	取り組む	
評価活動の 重点化	技能			○	○		○	○
	態度	○	○			○		
	学び方				○			○
評価規準	技能	○自己の能力に適した課題をもち、基本的な開脚跳びや台上前転の技ができる。						
	態度	○用具や助走路等の安全に注意しようとしている。 ○跳び箱運動の楽しさや喜びを求めて、めあてをもち意欲的に取り組もうとしている。 ○技能のポイントを理解し、補助等の役割を分担しながら、励まし合ったり教え合ったりして学習に取り組もうとしている。						
	学び方	○自己の能力に適した技能ポイントを理解し、学習に取り組んでいる。 ○自分に合った練習の方法を選び、教師や友達からの声掛けや学習カードを活用して学習に取り組んでいる。						

段階		つかむ	取り組む
具体的なよさの 現れ	技能	<p>[基本的な切り返し系の技] ○開脚跳び ①適度な助走の距離とスピードである。 ②強く踏み切っている。 ③跳び箱の奥の方に手を着いている。 ④腰が上がっている。 ⑤跳び箱を手で強く押し離している。 ⑥上体を起こして安全に着地している。 ※大きな開脚跳び・・・助走から両足で強く踏み切り脚を左右に開いて着手し、強く突き放して跳び越えている</p> <p>[基本的な回転系の技] ○台上前転 ①適度な助走の距離とスピードである。 ②強く踏み切っている。 ③跳び箱の手前側に手を着いている。 ④腰を高く引き上げている。 ⑤頭を体の中に入れ、体を丸めて真直ぐに回っている。 ⑥上体を起こして安全に着地している。 ※大きな台上前転・・・助走から両足で強く踏み切り腰を大きく開くとともに膝を伸ばした姿勢で着手し、台上で回転して着地をしている</p>	
	態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>友達と仲よく楽しんで練習の場を体験している。</li> <li>安全に素早く用具や場の準備を行っている。</li> <li>友達に合図をしたり器具などの安全を確かめたりしている。</li> <li>技能のポイントを理解するために進んで学習に取り組んでいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>めあての達成に向けて進んで取り組み、跳び箱運動の楽しさや喜びを味わおうとしている。</li> <li>安全に素早く用具や場の準備を行っている。</li> <li>友達に合図をしたり器具などの安全を確かめたりしている。</li> <li>技能のポイントを理解し、補助等の役割を分担し、励まし合ったり教え合ったりしている。</li> </ul>
	学び方	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習カード及びアドバイスカードの使い方を理解し、自分に合っためあてを設定している。</li> <li>技の一連の動きや技のポイントを理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学習したことを振り返り、自己の能力に適しためあてを設定している。</li> <li>友達のよさを認めたり、自分のよさを振り返ったりしている。</li> <li>技能のポイントを互いに見合い、教え合いながら学習に取り組んでいる。</li> <li>発言や学習カードの記述に、友達からのアドバイス、成果や課題が見られる。</li> </ul>